

## 【 補足説明 】 4K及びリーディングプランとは

<p>4つのK「教育」「経済」「環境」「健康」の基本的政策に取り組むことを政治理念として掲げています</p>
<p>「教育」は、公立、私立の垣根を越えた交流、研究を行い元気のある学校教育の実現など教育改革に臨み、教育立市にふさわしい教育環境を実現するなど「大阪一の教育都市」をめざし取り組んでいます。</p>
<p>「環境」は、本市は大阪の都心部から30分圏内の立地であり、豊かな自然と歴史・文化に恵まれています。この環境を子どもや孫に引き継いでいくことが責務です。森林・里山はおいしい水、きれいな空気の源であり癒しの空間でもあります。自然特性を活かした循環型地域づくりを進めるとともに、地球温暖化防止と地場産業活性化を両立させる森林プランの実現に取り組んでいます。</p>
<p>「経済」は、厳しい財政環境の中にあって、第2次財政健全化プログラムの着実な推進と市民サービスの再構築の視点を大切に、単なる「切捨て型」ではなく、「体質改善型」の改革をめざしています。そのため、若手・中堅職員の管理職、能力活用の場などへの積極的な登用や情報公開の徹底などに取り組んでいます。さらに、自然・歴史・文化資源などを活かした産業・観光・交流を振興させ、市の活性化に取り組んでいます。</p>
<p>「健康」は、出産から安心して子育てができるように保健・医療の充実を図っています。また、豊かな老後を送れるまちづくりを実現するため、高齢者や障がい者を支える地域ネットワークの確立を図っています。さらに、健康維持につながる生涯スポーツなどの充実に取り組んでいます。</p>
<p>「4つのK」の政策を実現していくことにより、5つ目のK「河内長野のK」を「希望のK」に変えていくことができると確信しています。「河内長野で子どもを育てたい」、「河内長野に住みたい」、「河内長野を終(つい)の棲家(すみか)として選びたい」そう言ってもらえるまちづくりを実現してまいります。</p>
<p>「リーディングプラン」とは 本市が直面する課題に対応するため、「資源の活用によるまちの活性化」と「人口減少対策、転入・定住化の促進」を重要な戦略的要素として、平成22年度から「河内長野を輝かせる活性化プラン」と「住みたい・住み続けたい魅力向上プラン」の二本柱を「リーディングプラン」として位置付けました。</p>